

「あとうー、表の看板に『市中求活手助け本舗』とありますが、本当でしょうか？」

「もちろん、看板に偽りなしです。『絶望は愚か者の結論』いかなる状況に追い込まれても諦めずに生きようとするとする人の手助けをいたしております。それが私の仕事です」

「たとえば？」

「先日DVに泣かされていた子連れの女性を助けた」

「DVといえますか？」

「ドメステックバイオレンス、家庭内暴力。家の中で常習的に暴力をふるう男から、地獄の苦しみにあえいでいた母と娘を助けた」

「どのように？」

「その家に乗り込んで、得意の一本背負いで男を床にたたきつけ、怒り狂って反撃してきたその男のアゴに右パンチ一発。アゴの蝶番が外れて、アワアワいうDV男に、今後一切暴力はふるいませんという誓約書に署名、捺印させました」

「手数料は？」

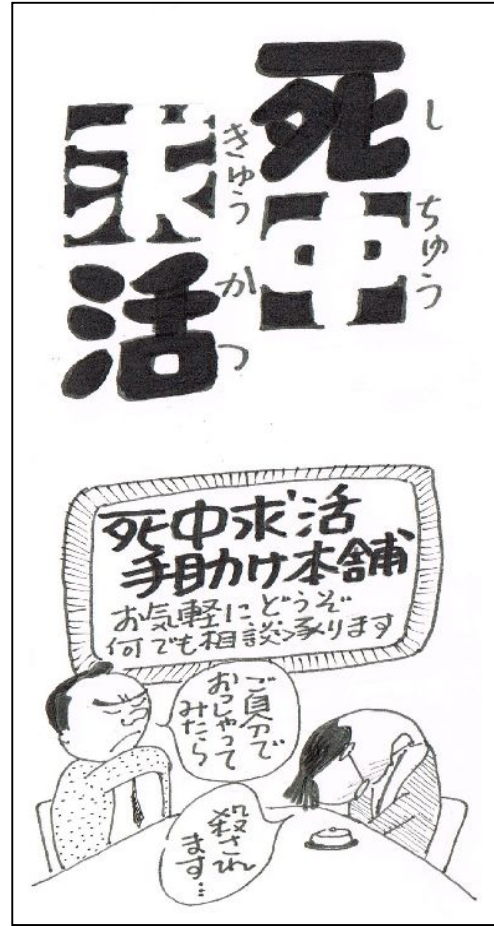
「そのときはやや体力を使いましたが、で、税込みで2万円いただきましたが、捜し物、仲裁、交渉、調査など内容にもよりますが、実費以外は2〜4万円程度です。で、あなたのご依頼は？」

「じつはわたくしも地獄のような毎日を送っております・・・」

「その地獄から脱け出したい？」

「はい、できましたら生きのびたいんです」

先週の回答



「どんな地獄ですか？」

「妻が毎晩挑んでくるんです」

「・・・」

「床に入ると」

「・・・」

「どうにかありませんか？ 何とか月に2、3日は何もしないで、ぐっすり眠りたいんです」

「そうゆうことなら、あなたご本人が交渉してみたらどうですか？ たまには休ませてくれって」

「そう言うと、そのDVなんです」

「・・・」



